

実際のいやし

2016年度に大阪で集会がありました。その時の主題が「神様が願われる福音運動」でした。昨年度は、名古屋の方で集会がありました。「いやしとサミットの契約の旅」が主題でした。いまアメリカは非常に学びのある大きな大国です。それにもかかわらず、アメリカはたくさんの霊的問題を抱えています。そして、UNでは、アメリカの最大の問題は青少年問題だと言いました。青少年が麻薬をやったり、人殺しをしたり、自殺をしたりということをしているからです。ヨーロッパももちろん非常に発展し多くの学ぶべき点がある素晴らしい国です。それにもかかわらず、ヨーロッパでは霊的問題によって病んでいる方が大勢いらっしゃいます。日本ももちろんです。世界でも指折りのほんとうに発展した国です。それにもかかわらず、非常に霊的問題で苦しんでいる方が多くいらっしゃいます。なぜかと言いますと、重要な6つのことを逃しているからです。それを回復していきましょうということが237訓練です。その中で今日、最初の時間、何を逃したのか、それをいまから皆さんが見つけていただきたいと思います。「実際のいやし」です。

イエス様がこのように言われました。マルコ 16:15-20、わたしの名によって悪霊を追い出しと言われています。病んでいる者に手を置いて祈ったところいやされたと言われています。そして、使徒 1:8、地の果てに至るまでわたしの証人となります。実際、いやしができなければ日本と世界を生かすことはできません。今回こちらの契約を握っていただきたいと思います。実際的につかまなければなりません。それでこそ皆さんも、そして、日本も生かされます。聖書を一言でまとめると、救いと伝道です。その方法を一言でまとめると、いやしになります。霊的ないやし、心や体すべてをいやしていくという部分です。このいやしがなければ絶対、世界福音化はできません。

序論

1. なぜなら日本と全世界は深刻な霊的問題を抱えているからです。特に今日、牧師婦人の方々にお願いしました。子ども未来教室と名付けていやしの働きをしてほしいとお願いしました。なぜなら、子どもの時にいやしませんと、ほんとうに大変なことになるからです。また、子どものときは、自分に霊的な病気があるということは分かりません。また、両親も気づいていません。分からないので、分かったときにはもう遅くなっているのです。ですから、必ずやっていただきたいと思います。
2. 癌（難治病、不治の病） - そして、全く治らない難治病、不治の病、癌のようなものがあります。昔は癌というものは年をとった人がなったのですが、最近子どもたちも癌になってしまっています。
3. その中で一番難しい病気が精神病です。ある人は、「うつ病も精神病ですか」と話すのですが、では、うつ病は足の先の病気でしょか。精神病です。パニック障害、これも精神病です。皆合わせると、精神病になります。深刻です。ですから、実際のいやしの働きをしなければなりません。これで終わりません。
4. 中毒 - 完全中毒になっています。これはすでに子どものときから始まっているものです。子どものときから始まっていて、最近の中毒の世界は非常に広いです。ゲームもそうなのですが、携帯を通して中毒の様々な問題が増えてきています。
5. 賭博 - 今度は少しばかりのゲームではありません。これはほんとうにギャンブルに陥ってしまっています。これはカジノに行って少しやりましたという感覚ではありません。ちょっとパチンコをやりましたという感覚ではありません。深刻な感覚でこのギャンブルに陥っています。もちろんこれも中毒の一つです。これもあえて言えば精神病の一つです。全部合わせると、霊的問題なのですが、これらの問題が地球上にたくさんあるということです。政治家も必要なのですが、必ず福音を持っている方々がたくさん必要です。ある意味、日本にいらっしゃる立派な政治家の方々は、この部分は難しいと思います。でも、皆さんは簡単にやることができると思います。なぜなら福音を持っているからです。そして、聖書を詳細に見ていきますと、福音を持った0.1%の人たちが世の中を変えていきました。

1. 聖書に証拠があります。
2. 教会史に証拠があります。

聖書をよく見て、そして、二番目は教会史をよく見ていただきたいと思います。証拠があるからです。0.1%は本当に少ない数字です。イスラエルの民族をエジプトから救い出した人は、ごくごく少数の人たちだったということです。そして、ペリシテを打ち止めたのは軍人ではなく、福音を持っていた本当

に少数のサムエルとダビデのようなものでした。アラムとアッシリヤの攻撃に立ち向かったのは軍人ではありません。エリヤとエリシャのようなものが打ち勝ちました。ローマに対して軍人が戦って勝利したわけではありません。政治家によって勝利したわけではありません。0.1%のごく少数の福音のものによって勝利したのです。そうすると、これからどうなるのでしょうか。これから将来の重大問題をどのようにしたらよいのでしょうか。簡単な答えです。福音を持っている 0.1%の人々を神様が用いてくださるということです。それでは、福音を持っている人であるならば、誰もがことができます。

本論 - 福音を持った者

ヒーリックスという人は、このようなお話をしました。福音を持っていないすべての人は、宣教対象であるということです。福音を持っているすべての人は、宣教師であるということです。これがヒーリックスによる言葉です。わたしはその通りだと思っています。宣教師の方がいらっしゃると思いますが、すべての人が宣教師のもとにいらっしゃる宣教師であるということです。救われていないすべての人は、宣教対象者になります。では、本日 3 つの単語を握っていただきたいと思います。

1. 集中

一つ目です。私がいやせるのでしょうか。病んでいる人がいる。私がどうやっていやせるのでしょうか。私も病んでいるのに、どうしてできるのでしょうか。私もこんな問題で深刻なのにどうしたらいいのでしょうか。もちろんできます。聖書に救われた人に与えられた最も重要な単語があります。イエス様の最後の講壇、オリーブの山で与えられたメッセージがあります。それは何でしょうか。集中です。これによっていやすのです。なにをいやすのでしょうか。

1) 使徒 1:1-8

ただキリストです。ただ神の国です。ただ聖霊です。これによって集中していきます。そうすると、いやされていきます。でも、集中していません。集中すると必ずいやされる働きが起きます。これをしていただきたいと思います。40 日間、神の国のことについて記録されています。これはイエス様が直接見せてくださったことです。弟子たちがそれを見たので、出てきてはそれをずっとやりました。ある日、力が生まれてきたのです。そうです。ある日、世界を変えました。これだけが変える道です。私はインマヌエルのソウル、釜山に特別な願いをしました。祈るだけのチャペルを別に作りなさい。そこで公の礼拝はせず、誰でもいつでも入って祈れる空間を作りなさいということです。必要であるならば、その中に多くの祈り室を作って祈れるようにします。片方には祈りの助けになるたくさんの資料を置きなさい。いやしのできる、読めばいやせるたくさんの資料を置きなさい。レムナントが読んで大人になったらサミットになれるすべての資料を置きなさい。一人で入ってもそれができるようにしなさい。サタンは教会にそれができないよう集中させません。神はそうにはさせていません。幕が下りるとキリストの集中的な説明がよくされています。すべての幕はすべてこの神に集中した方向にドアが作られていました。皆さん覚えていらっしゃるでしょうか。ダニエルが危機にぶつかった時です。窓を開けて一日に三度、膝を曲げて感謝しつつ祈っていました。どちらに向かってですか。エルサレムに向かってです。祈ったと記録されています。その意味がこの集中に含まれています。聖書には主を見上げなさいとあります。このようなことを誰かが手助けしてあげればできるのですが誰もやっていません。霊的問題がある方は、少しばかり一緒に集中すると御働きが起きます。でも、私たちは集中の正反対のことをやっています。おかしいことをやったり、他人の話をしたり、集中にならないことばかりをやっています。だから、教会も私自身も分裂しています。元々サタンは偽り、隔たりを作る、分裂させると言う意味があります。そして、人をだめにして倒します。

2) 使徒 1:14

この契約を握って集中しました。これを行う人があまりいません。これができる教会がありません。これから霊的問題がどんどん深刻になりますが、どこに行ったらいいのか分かりません。これだったらお寺に行ったほうが集中できると思ってしまいます。そうだと思いますか。教会に行けば、すべて分散して気が散ってしまいます。このような集中をしている人がいません。これから皆さん、個人もそうですし、外にいるすべての人たちがいやされるようなきっかけになる集会になってください。

3) 使徒 2:1-13

他のことは二の次、三の次です。まず先に霊的な力を得ることによって本人が成長していきます。霊的な力があると、隣にいる人は分かります。隣の長老さんが分かるようになります。磁石のように引っ張る力があるのです。そうすると、霊的問題のあるノンクリスチャンは皆さんのところについてくるしかありません。そうして重要な内容をもって、正しい集中によっていやされていきます。一人がその体験

をすることで、続けて、続けて御働きが起きていきます。お分かりでしょうか。これを日本では必ずやらなければなりません。他の国もそうなのですが、ここ先進国日本は必ずやらなければなりません。ほんとうに聖書通りのことをやらなくてはなりません。他の方法では絶対に解決できません。では、どのように集中したのでしょうか。

4) 使徒 13 : 1-7

また、同じような働きが現場で起きました。使徒 13 : 1-4 です。パウロはマルコの屋上の間に行きまわりましたが、その働きをそのまま再現しました。というのは、私たちもそのマルコの屋上の間にいなかったとしても、同じ働きができるということです。

5) 使徒 19 : 1-7

マルコの屋上の間の働きと同じことが起きました。こうするだけでツラノの地域全体が変わったのです。ツラノの地域がひっくり返されることによって、エペソの地域が変わっていきます。その講堂は、エペソの講堂を指しています。このまま終わったわけではありません。ローマも見なければならぬ。このようにローマに至るまで門が開かれていきます。神は仰せられました。「恐れるな、パウロ。あなたはカイザルの前に立たなければなりません」。危機が来た時です。「恐れてはいけません。カイザルの前に立たなければなりません」。私は心の中で神様に「どれぐらい私は長生きできるのだろうか」と質問してみました。確実な伝道者が出てくるその日まで。ほんとうに福音をもってレムナントを引っ張っている人が出てくるまで。悪い頭を回すことなく、ただただ福音の人が出てくるまで。そのような確信をもらうようになりました。あんまり長生きする必要はありませんが、レムナントを育てる必要はあると思っています。この 1、3、8 と 62 をまことにやるなら 2 番目のことが出てきます。

2. 体験

体験できるようになります。体験できたということは、体験以前にすでに答えられたということです。こちらには重要な 3 つの体験が出てきます。何でしょうか。

1) みことば体験が出てくる

みことばの体験です。みことばの体験にはすごい内容が入っています。メッセージを立て続けに聞いていくうちに体験します。ですから、メッセージを逃してはいけません。皆さんの教会の牧師先生のメッセージや本部のメッセージも続けて聞きながらずっと逃さないで聞くことです。これがなんでもないので見えるのですが、御働きが起きます。ある無知な人がこういうお話をしました。「あの人間はいくらメッセージを聞いてもいつも同じだ」と。それは霊的な目が非常に疎いからです。メッセージをたくさん聞いて、いつも聞いているからあの程度だということです。メッセージを聞かなければ大変なことになります。それを分からないからの発言でした。霊的問題がある人ですぐに治る人もいるのですが、時間がかかる人もいます。続けてメッセージを聞いていく中で、その流れで神が祝福の中でいやされていくのです。さて、メッセージ、みことばを書き起こしなさいと言うのですが、それは書き起こしによって体験するからです。メッセージ、聖書のみことばは聞いたり、書き起こしをしたりするときには、鉛筆でやってください。全世界はいまキーボードでできるのですが、鉛筆でやってみてください。ボールペンよりかは鉛筆がいいです。うつ病の患者さんたちもこれを鉛筆で書きながら非常に早くいやされていきます。例えば、霊的問題がある人は、静かな中でメッセージを聞いて書き起こしをしていきますと本当に力が出てきます。これは時代を変えていく働きが起きていきます。あるときには、みことばを暗唱してください。どれほど素晴らしいのでしょうか。学生たちは英語で暗唱すれば、英語もでき、恵みも受けますし、力も生まれますし、体験もできますし、すべてが生まれます。私は聖書箇所をそんなにたくさん知っているわけではありません。ある人は、私は全部知り尽くしていると思うかもしれませんが誤解です。私は聖書の中の福音に関する流れ、それだけをキャッチしています。それを全部握りました。すると、世界福音化するところに私を導いてくださったのです。それはまったくもって私の能力ではありません。私の力でもしそうしたならば大変なことになっていたと思います。私の水準でやったとしたら大変なことになっていたと思います。こちらの内容を体験していただきたいと思います。そうすると、みことばが成就されて、答えとして私にその流れが見えてきます。流れが見えるから、これからどうするかという心配はなくなります。みことばについて行ったところ、237 が見えました。新たな訓練を始めよう。そして、237 センター。このようなみことばの流れが見えてきました。そこで何をするのか。またさらなる訓練ですか。違います。奪われた 6 つの現場をすべて取り戻そうと思っています。牧師婦人の方が今回また訓練をなさるのですが、実際的な話をしたいと思っています。奪われた 6 つの現場の 30 個の戦略が出るのですが、それを基本のベースとして知らなくてはなりません。聖書的に完璧にできる実際的ないやしをメッセージしたいと思っています。出てくると思います。私も期待しています。神

は皆さんを通して、日本を生かしていきます。全世界を回って友人に会っていろいろな国に行ったとしても、一番重要な鍵はメッセージの流れに乗ることです。

2) 祈りの体験をしなればなりません

2 番目です。祈りの体験です。祈りの体験というのは、みことばの流れに沿った体験を指しています。祈りというのは仏教もやっているからです。シャーマンの人たちも祈っています。その祈りを指しているわけではありません。すべての世界教会は祈っていますが、神はその祈りを指しているわけではありません。福音の流れに沿った祈りの体験を指しています。そうすると、流れだけが見えるわけではありません。24 時の状態になるのです。すごく重要です。この体験がとても重要です

(1) 祈りの文

あるときは患者さんに会った時、祈りに関する祈り文を書いてあげたりします。マッカーサの祈りの文など有名な文書になっているのですが、それは永遠に残ります。

(2) 声を出した祈り

あるときは、声を出した祈りをします。集会の時、「声を出して祈りましょう」というときは、それがとても重要な祈りです。徹夜祈りで祈る時、声を出してやると、それは天の御座とつながる声ですから、それこそたましいにつながる偉大なることになります。だから、集中がポイントです。集中は何か。体験できるようにするのが集中です。だから、集中するということです。そうすると、どんなことが起きるのでしょうか。祈りはこれだけではありません。

(3) 権威を味わう祈り

24 時なるとどこにいてもできるのですが、権威を味わう祈りです。この流れに乗った人が権威を用いて悪霊が離れますが、流れに乗らずにいると悪霊はあざ笑ってしまいます。福音の流れに全く乗っていない教会が、「イエスの御名で命じる、サタン」と言っても、サタンがあざ笑ってしまうのです。ある意味、権威を味わう祈り一つでサタンは退かれていきます。例えばです。ほんとうに契約を握った人が祈った時、サウル王にあった汚れた霊が離れていきました。ダビデが悪霊を追い出すとは言っていません。賛美した時に、そこで悪霊が離れていったのです。これはものすごいお話なのです。霊的問題はただで生まれたわけではありません。これらの問題が離れて崩れていきます。必ず記憶してください。

3) 3 つの生かせる集中体験

では、次に誰もがができることです。皆さんは 3 つのことを生かせる集中をやってください。3 つを生かす、生かすことに集中することです。これは単純に治すという意味ではなく、生かすというところに集中することです。ここで出てくることがあります。いちばん平安に深い祈りをするということです。深い祈りがここで出てきます。そして、生活そのものが深まっていきます。深い生活に至ります。そして、答えられることより重要なのは霊的状态です。これが重要です。問題が来た時にどう解決するかではなく、その霊的状态が重要です。ここから食事も呼吸も出てきます。食事も呼吸もある面では重要なことではないのです。というのは神様が治してくださるのでなければならぬからです。深い祈り、深い呼吸、深い食事が、皆さんを生かしてください。皆さんにやってくださいと言っても死んでもやりませんから、人たちを集めて皆でやってみてください。レムナントたちと 1 時間だけ一緒にやってみてください。継続しながら確認していただきたいと思います。だから、御働きの伴うようになります。自分の体も霊的状态も続けて生かされていきます。これを体験しなければなりません。これを何に変えていかなければならないのでしょうか。

3. 伝道運動

伝道運動に変えていかなければなりません。そうだと思います。人を生かさなければなりませんから。単純な伝道ではなく伝道運動に変えていかなければなりません。聖書を見ていきたいと思います。

1) 使徒 3 : 1-12

この内容はものすごい内容が含まれています。美しの門の前にいた足のなえた男を立たせたので、イスラエル全体に影響が及んでいきました。この中にはたくさんのことが含まれています。誰もできない医者もできないことをキリストの御名によってしたということです。科学者ができないことをキリストの御名によって運命を変えたということです。ある意味、この人がキリストを知ったならば、起き上がらなくても結構だったのです。では、聖書をよくご覧ください。使徒 8 : 4-8、サマリヤです。キリストを伝えたのに悪霊が離れ病人が生かされました。これを正しくやれば日本全地域を生かすこと、誰でもできます。訓練を受ければできるというわけではなく、誰もがことができます。問題はやっていないのが問題です。子どもたちはやりません。だから、子どもたちと一緒にやってください。子どもたちと一緒に訓練を受け、一緒に祈る、良いと思います。食事のしかたも教えてあげたり、一緒に深い呼吸をした

り、すぐにおあかしが出てくると思います。皆さんが食事のしかたを変えるだけでも変わっていきます。私は昔、血圧の薬を服用しても血圧が下がりませんでした。血圧の薬を服用しても上がってしまいます。ですから、夜遅くまでメッセージをしたりしますと、ぐんと血圧が高くなってしまいました。それで食事のしかたを変えたのです。薬も全部止めました。何年も医者が「薬を絶対服用してください」と言っても止めました。食事のしかたを変えたのです。いまは低血圧の危険性を感じるくらい下がってしまいました（笑）。朝起きると血圧が70くらいで低いということですが食事を変えたのです。あるときは68の数字が出たりして、低血圧になったのかと思いました。あまりにもいつも高血圧ですごく頭痛もしていたのです。何もしたわけではなく、祈りと呼吸、食事の方法を取り替えました。簡単に変わることができます。霊的問題がある子どもたちも少しだけ助けてあげるだけで生きると思います。この3つをいかにできるかということで、子どもも癌の患者さんも日本も生かすことができます。絶対に心配はいりません。使徒 10：1-45 を皆さんどう思われますか。私は気づきました。あとで天国に行ってその人に聞いてみたいと思いますが気づいたのです。自分が職業も良いし実力もあるのですが、内心すごく苦しんでいた。そういう人たちがたくさんいるということです。エリートの中にたくさんいます。すごい頭の悪い人は苦しんだりもしません。苦しいという IQ が低いからあまり考えられないのです。賢い人たちは、いろいろ考え込んでしまうのです。その人がコルネリオだったと思います。どれだけ待っていたか、コルネリオは伝道者を迎える時、裸足で迎えたということでした。ただ単に歓迎すればいいのですが、お辞儀をするくらいで裸足で出迎えたということです。大きなことをしなくても、神が願われる伝道運動をするとすぐに教会も変わっていきます。これを实际的にやるということがポイントです。今日から必ず、实际的に。使徒 13：5-12、宣教師として派遣されてすぐに福音といやしの働きをしました。マケドニヤに行って、行ってすぐにやったのが福音といやしの運動です。それがさらに伝道運動に取り替えられました。そして、ローマに行く前にすでにツラノで行いました。第3次伝道旅行を終えた後に、ツラノの方で行いました。偉大なる働きです。

2) 使徒 17：1、18：4、19：8

このままにしてはならない子どもたちをいやしていくための会堂。子どもたちを今いやさないで後にどうなるでしょうか。たった一度のいやしが子どものすべてを左右しますが、それをやっていません。その集中の期間というのは、体験できるまでを指しています。集中というのは、家に行っても教会に行ってもどこに行っても集中できる空間ではありません。だから、家を出てしまう子どもがいます。どうして家出をするのか。耐えられないから出てしまいます。そういう子どもたちがたくさんいます。また、よく見ていただきたいと思います。

3) II コリント 12：1-10

パウロが信仰生活をしていく中で重要だと思える部分が多いです。パウロは自身の病気のために多くの恵みを受けました。ここまで行く霊的状态です。自分の弱さのゆえに言えないほどの恵みを受けていたということです。これからは自分の弱さを誇りに思えると言ったのです。これぐらいのことです。何次元の世界を祈りで体験したのです。自分の体がいま自分の体の中にあるのか、外にあるのかわからない。それぐらい平安でありながら深い祈りに入っていたのです。これをもし一日に 1、2 度やればすごいことになっていきます。重要なことは逃し、重要ではないことを握っているのが問題です。神の民は神から与えられた本物を握って行かなければなりません。私はピリピの手紙を本当に気に入っています。ピリピの手紙 1：9-10 に本当に何が良いものであるかを分別しなさいと言われていました。私たちに様々な問題があったりします。その中で何が一番善であるかを見分けなさい。例えば、難しいこともあります。12 節から 14 節、パウロが牢の中に閉じ込められたことは、一番大きな恵みであるということでもあります。ピリピ 2：9-11、苦難に会うときもあります。その時、パウロはこう言いました。キリストも苦難に会われたのではないか。キリストは苦難に会われたが、主の主、王の王として、いまここにおられるのではないか。ピリピ 3：8-21 では、もっと重要なことを話しています。私たちは自分でこれもあれもやりましたと言うが、パウロは何もやってないと言っています。何も成し遂げていない。得たものもない。そして、その理由を説明しました。キリストの御手に捕らわれた、それを狙いに走り続けていると言っています。本物を分かっているのだから上から与えられたその召しのために、その報いのために走ると言われています。私の背景は天にあると言われています。なぜなら、私はローマの国籍を持っている。しかし、その国籍は違う。私は天の国籍を持っていると言いました。これはただ天国に死んで行くのではなく、地上で天の報いの祝福を受けて天に引越すということです。ピリピ 4：13 に、私に力を与えてくださる方によってすべてができるのだと言われています。そして、必要なすべてを付け加えてくださる。ここまで行ってこそ本当のいやしが起きます。日本で必ずやってください。皆さんの数は小さな数ではありません。どうしたらいいのか。集中すれば良いのです。何をすることが重要なわ

けではありません。何をしないかがもっと重要です。なぜなら、重要なことをやっていないからです。集中。いつまでか。体験できるまでです。いつまででしょうか。伝道運動が起きるときまでです。そうすると、それでおしまいです。このたびの 237 センター訓練に日本の牧師婦人の方々もぜひ皆さん参加してください。誰もができることです。ある人は、呼吸祈りを学んですごく自分ではできていると思っていて、ああ、やっぱりあの人はまだ呼吸を分かっていないなと思いました。だから、祈りも分かってないのだなと。しかし、皆ができることです。目的は治ることが目的ではありません。私たちが神の御前に立って、どう恵みを受けるかが重要です。病気になったのは神様の方こそよく分かっていることです。ということは、私が神の恵みを受けることがもっと大事なことです。私の病んでいる部分をサタンが狙ってくると思います。だから、私たちは主に向かって集中するのです。その力が現れるまで。その力が子どもたちに伝わるまで。日本全地域を生かすまで。この実際的ないやしのほかはありません。奪われた 6 つの内容、戦略が 30 個あるのですが、それを全部取り戻していきたくと思っています。どうせ皆さんやらないと思うのですが、特別な時間を作ってやってください。なぜなら、本当にやっているなら見て分かります。この祈りをしている人は、患者さんを生かすだけではなく、皆さん自身が変わっていくのです。未信者が見ても分かるくらい変わります。あの人はやっぱり何かがあるということが分かります。そして、重要なタイミングで自分の難しいことを相談したりもします。そうすると、この内容を持って助けてあげることです。あるときは無理やりな方法ではなく、おあかしをしてください。患者さんに。そうして、心が開かれたらこの内容を伝えれば良いのです。飢え乾いている人が来ると思います。そうすると、すぐにその人は働きが起きます。でも、これをやれと言われて他人の家に音沙汰なく突然行ってやるようなことなく、これを神の恵みの中でやってください。

結論

結論です。この働きのために、皆さん自身もまた出会う人に。

1. 器のいやし

器のいやしをしていきましょう。器が小さいところにはたくさんのものを盛り込むことはできません。日本には小さな小皿がたくさんあるのですが、それはもちろん最初から小さいものを乗せるためのものです。でも、一般的に小さな器には、たくさんのものを乗せられません。今度は器に傷が入った。使い物になりません。水が全部流れていってしまいますから直さないといけません。器に嫌な垢がついている。そうすると、そこにご飯を盛ることができません。または使いづらい器があります。なかなか使いません。投げても割れないような器だと最高なのですが、使いにくいものは使いません。さて、器のいやしです。すべての人にすべてを良くしてあげることはできません。でも、他の人が皆さんを見て、あの人は福音を持っている人なのだと気づくことです。I コリント 4:1-2 のように、人が人を見たときに、あの人はキリストの働き人で神の奥義の管理者だと見えるくらいです。例えば、この人はお金が好きなんじゃないかなという感じをキャッチした瞬間、あまりその人には養育されたくないのです。そういうことを感じてしまうとそうです。例えば、この人はよく嘘をつくのではないかと思われたら、その人が本音を言ったとしても、なかなか信じられなくなるのです。例えば、この人はすごく世的な人だということを感じると、みことばを話したとしてもなかなかそういうことが聞こえません。他人が皆さんを見たときに、キリストの働き人だ、私もキリストを知りたいとならなければなりません。私が失敗だらけだとしても私についてきてキリストの運動しようとする人は、私にキリストがあるからです。

2. 生活のいやし

また、参考にしていただきたいのは、生活のいやしです。

1) 刻印されている部分を変えなければなりません。刻印を変えてこそ霊と肉を変えることになります。それで皆さんに塩分を取らないようにと言うのは、皆さんの体がおしんこにつけた漬物みたいに塩だらけだからです。塩がいっぱいなので虫はつかないと思いますけれども。呼吸を吸って吐き出す時に長く吐きなさいということは、体の毒素を吐き出すということです。医学的に汗や大小便によって毒を出せるのは 16% くらいにしかならないそうです。84% の毒素は呼吸によって出すということです。息を深く吐き出す時間帯が 1 日に何度あるのでしょうか。ですから、刻印を変えられません。刻印された分、それに応じて答えられます。だから、みことば、祈り、また、キリストを刻印させて、そして集中しなければなりません。

2) 根づいた分、力が現れるようになります。どうしてなのでしょう。根をいかに下ろすかによって実が結ばれるからです。そして、次です。

3) 体質が変わった分、世界化になっていきます。それは証人となります。難しく考えず、皆さんのものですから当然味わっていただきたいと思います。未信者に会って、病人に会った。当然ながら助けてあげなければなりません。しかも神様のみことばの内容を持ってです。その人を助けてあげるのは、この深い祈りを持って、食事の深いシステムを持って助けるということです。生かしてあげることです。こちらに医師の方もいらっしゃると思いますが、痛い部分だけは分かります。例えば、癌の患者さんが手術をしなければ、そして、抗がん剤を投入しなければとお話されると思います。どうしてか。それしか方法がありません。その医者皆さんの過去の責任を持てず、未来の責任も持てません。すべては神の手にあるので生かすことをやることです。治すことは医者ですが、生かすことは神様です。必ず覚えてください。

3. 業、学業、産業のいやし

最後に業の部分なのですが、学業、職業の部分をいやしていくべきです。どのようにこの部分を生かすのでしょうか。

1) ただ、唯一、再創造

62 の生活をやっていくうちに、これはいやされていきます。ただ、唯一、再創造が出てきます。

2) 経済のいやしがついてくる

そうすると、皆様に経済のいやしが伴います。その人のお金の使い方を見ると、その人の人生すべてが見えてきます。お小遣いをたくさん使い果たしてしまう人はチンピラかもしれません。そういう人は遊びすぎて、1 億使っても足りないと思ってしまいます。あまりにも研究して勉強する人は、遊ぶ時間がないのでお金をあんまり使いません。大学に伝道しに行くと、あんまり勉強しない大学だと雰囲気分かります。勉強をよくする大学に行くと、ある女学生なのですが、ジーンズを見ると 1 ヶ月位同じものを履いているのかと思うくらい膝の部分がとんがって見えまして。ずっと洋服を気にせずに勉強ばかりしたのだと分かります。そこから判事や検事、エリート of 公務員が輩出されたりしました。勉強をあまりしていない学校に行くとすぐに分かります。モデルさんみたいな人たちが勢揃いしているのです。勉強をしません。だから、どれくらいお金が必要なのでしょう。遊ぶためにはすごくお金が必要です。また、食べることはすごくするのですが献金ができません。ある商売人がお話しました。りんごを売っているのですが、リッチな街に行くとなかなか売れないということでした。貧しいところに行くとすぐに売れ切れる。なぜなら、貧しい人は、とりあえず目先の飢えの問題を解決したいのですぐに買ってしまうということです。不良のいろんな食事でも食べてしまいます。

3) 皆さんの業を持って、教会と世界福音化、レムナントを生かす働きをしてください。

そのいやしから始めていただきたいと思います。教会とレムナントです。これをいやしてこそ世界福音化になるからです。こちらの方向にいやしを受けなければなりません。そして、ほんとうにお祈りをしながら、教会を生かすくらいのお金を儲けなければなりません。業界を生かせるほどのお金を儲けよう。次の世代を生かせるほどの経済を持つべきだと。それ以上は必要ありません。それを契約として確実に握ることです。それが神様の御心ですから答えられるようになります。今回は、ほんとうに答えられる重要な集会となりますように主の御名でお祈りします。

(祈り)

神様、感謝します。逃すことのないように祝福してください。日本を生かす使命者が集まりました。世界を生かすレムナントたちが集まりました。すでに世界を生かしている伝道者が集まりました。神様がまこと真の答えを与えてください。イエス・キリストの御名によってお祈りします。アーメン。